

平成 25 年度

事業所名 : ホームとよまね2号館

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0393000054		
法人名	株式会社メイト		
事業所名	ホームとよまね2号館		
所在地	岩手県下閉伊郡山田町豊間根2-111-3		
自己評価作成日	平成 26年1月 3日	評価結果市町村受理日	平成26年5月22日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/03/index.php?action=kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosyoCd=0393000054-00&PrefCd=03&VersionCd=02
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 いわての保健福祉支援研究会
所在地	〒020-0021 岩手県盛岡市中央通三丁目7番30号
訪問調査日	平成26年 1月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

毎日のラジオ体操・下肢運動による自分で歩けること維持する支援に努めています。施設内ホールの窓から見える畑、花壇がある環境、その中で季節感を味わえるよう利用者と共に栽培収穫できるように努めています。食事作りを皆で分担して行う他、食後の片づけを当番制として全員が関わられる仕組みを取り入れています。自治会や保育所との定期的交流を通じて地域とのかかわりに努めます。地域の特性を生かした季節の食材を自ら収穫し調理することにより季節感を味わえるよう努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「ホームとよまね2号館」は国道45号線沿いの山田町の南方に位置し、農山村が主産業となっている地域であり、先の震災被害を最小に免れた地域にある。同法人が運営する「とよまね1号館」と共に、理念を同じに運営され、利用者を主体に地域との結び付きが強く、自治会活動にも地域の一員として参加する等、地域づくりの一役を担っている利用者支援において、ひときわ目を引くが、利用者の生活の中に他作業を取り入れ、産直へ届ける新聞紙を利用した包み紙折や近くの食堂へも折り紙による箸入れ作成等、手先を使った利用者ならではの地域に還元する取り組みは、地域からも高評価されている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない			

【評価機関:特定非営利活動法人 いわての保健福祉支援研究会】

事業所名 : ホームとよまね2号館

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の目に見える所に理念を掲示している。又毎月の職員会議の時に唱和し、共有している。	法人設立当初に職員間で話し合った法人理念が継承されている。理念は掲示するとともに職員会議で唱和し、職員の共有化が図られている。地域福祉を担うという理念は行事等に組み込み実践に繋げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	自治会会員として事業参加するとともに、おでんせ市(産直)へ毎週買い物に出かけながら地域の方々とお話ししたり、保育園と毎月相互交流しています	自治会主催の「お座敷広場」での体操・交流会、病院跡地を利用した「井戸端会議」に参加交流している。近所の方が季節感のある絵手紙を持ってきてくれたり傾聴ボランティアや朗読ボランティア等の訪問もある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	利用者と実際に接することで、理解や支援方法を見ていただけるよう、地域の方々に向けて生かしています また、職員のキャラバンメイト養成研修への参加も行っている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	様々な推進委員より、意見や情報が毎度得られている。出来ることから実践している。火災や自然災害時の対応などが話題に出る事が多く、地域ぐるみでの防災訓練の計画をする場合もある。	隔月開催の会議では地域情報や防災情報等大きな災害を経験したからこその話題も多く、推進委員の協力や意見が活かされ今年度は他のグループホームの運営推進会議への参加の機会があり、今後の推進会議への取り組みに活かしていくきっかけとなった。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要に応じて行き来している。運営推進会議や地域ケア会議などで情報交換をしながら協力関係を築くように取り組んでいる。	市担当者の訪問は数少ないが、推進会議や地域ケア会議等で同席する機会も多く、理解を得ている。沿岸北ブロックグループホーム会議や自主事業である職員交換研修に取り組み等、市の指導を得ながら良好な関係づくりを継続している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	介護保険指摘基準における禁止の具体的な行為を勉強するとともに、やむを得ない場合の拘束についても理解し、拘束しないケアに取り組んでいます	直接的な身体を拘束することについての弊害は職員の理解が得られている。日中の玄関のカギは解錠されている。利用者がひとりでの外出するには名札をつけて自由に外出できるようにしている。	身体拘束は、人間の尊厳にかかわる事でケアの基本を指すものと考えている。ボディタッチの部分だけではなく、言葉遣いや素振り等も拘束の範囲と捉え、広く研修される事を期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法で定義する5つの虐待について再確認し、防止に努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	生活支援員の毎月の訪問を通じて日常生活自立支援事業を学んでいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書の要約版を用いて、一番ご家族が心配されている退所について詳しく説明し、理解・納得が得られるよう図っています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時における意見・要望の聞き取りを行っています。また、利用料は原則として施設に訪問して支払ってもらうようにし月に1度は家族と職員が利用者の近況等を話しあえる機会を設け、運営や毛介護計画書に反映できるようにしています	月1回の面会・利用料金支払い時を機会と捉え、様々な意見要望を聞き取りしている。これまで出された意見等は、「職員の名前が分からない」「通院時の付添い対応」等だが、何れも改善を図り利用者、家族に通信で周知し支援に活かしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員会議時、一人一回の発言機会を設け意見・提案を運営に反映できるよう努めています	月に1回の職員会議での職員からの意見等で脱衣所の手すり設置や暖房機器の設置するなど改善に繋げている。モーニングケアが職員によってばらつきがあるとの意見から見直しを行うなど意見を活かした取組がされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格に応じた給与・待遇が出来るよう職場環境・条件の整備に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修とともに外部研修の機会を均等に設けるよう努めています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営推進会議への参加や、職員の交換研修の場を活用し、交流しサービスの質向上に努めています。又、他事業所から研修の依頼があった場合は可能な限り受け入れています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	センター方式Bシートを活用しながら、ご本人の見守り・傾聴に徹し、本人の思いを受け入れた後行動するよう関係づくりに努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	センター方式Bシートに思いを記入していただき、その後もお会いするごとに不安や要望を聞き、関係作りに努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	24時間365日支援している利点を生かし、必要としている支援を見極め、その場で対応するよう努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者のペースで、日常生活全般を利用者と共に行い、生活の場を一緒に過ごせるような関係を築いています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用料は原則として施設に訪問して支払ってもらうようにし月に1度は家族と職員が利用者の近況等を話しあえる機会を設け、運営や介護計画書に反映できるようにしています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの商店や美容院などの関係が途切れないよう、支援している。	馴染みの関係を継続する援助が難しいと感じつつも利用者の馴染みが深いものとは何かを探しながら積極的に対応している。今年度から利用者と職員が1人対1人の対応で希望地訪問を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の意向によりグルーピング作業を行い、良い関係が保てる利用者同士を近くの席に配置し、関わり合い、支え合いができるよう支援に努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も、今後予想される事態に備えてのアドバイスや相談に努めています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式Bシートをもとに、本人の思いや意向の把握に努めています。又、家族からの生活歴の聞き取り、日々の日誌への記録等を活用し、情報収集に努めています。	行動や何気ない言葉を24時間観察し、記録することで利用者個々の思い等の把握に努めている。利用者の言葉の意味を理解し、適切に返答等することにより利用者との意向に沿うコミュニケーションが交わされている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式Bシートをもとに、本人の思いや意向の把握に努めています。又、家族からの生活歴の聞き取り、日々の日誌への記録等を活用し、情報収集に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日誌を元に職員からの情報により現状把握に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月の課題分析で意見を出し合い、ご家族訪問時に希望や意向を聞き取り計画作成に努めています	介護計画の目標やサービス内容に付いて提供状況や課題を全職員で話合っている。サービス変更がある場合は、家族と話し合い意向を十分確認し職員会議で再度確認しながら、全職員共通理解のもと介護計画作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を全職員で情報共有しながら、良い実践を取り入れ、介護計画の見直しに努めています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	24時間365日支援している利点を生かし、必要としている支援を見極め、その場に対応するよう努めています		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	豊間根地区という地域の特性を生かしながら、地域に必要なとされるホームとしての活動を利用者が行うことができるよう支援に努めています			
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	従前のかかりつけ医の継続受診を原則としている。必要な場合はスタッフが同行するなどし主治医と連携しながら医療を受けられるよう努めている	これまでのかかりつけ医での受診であり、通院は基本的には家族が行う事としているが、移乗が困難な場合や利用者の日常等の状況説明が必要な場合には職員が同行している。受診結果等は家族に報告する等、情報を共有しながら適切な受診を支援している。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホームに看護職いないため、山田町や地域の看護師に助言を求め、適切な受診や看護が受けられるよう支援に努めています			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時は医療相談室と連携を取りながら情報交換や相談に努めています			
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にホームでできることの限界について説明し同意を得ている。又、急変時や、看取り、延命についての家族の意向調査を行っている。 ターミナルについては、県立山田病院と連携、協力し、対応できる範囲で実施していきます。	重度化や終末期に付いて、今年意向調査を実施している。アンケートには利用者家族や親戚等も集まり真摯に話し合った結果の意見を事業所で把握した。今後、意向調査を分析しながら、利用者個々の希望を尊重した取組を段階的に確認しながら進めたいとしている。	家族の意向・要望の把握は今後の対応に活かしていく貴重なものと考え、今後は研修機会を活かし、職員の出来る範囲を認識し、家族や地域資源を活用する等、関係者と連携しながら取組まれる事を期待したい。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	応急手当や初期対応の訓練を消防署の協力を得ながら少人数での定期的訓練を実施し、実践力を身につけるよう努めていきます			
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議を活用し、地域の方がどのように協力するかなどを話し合い、協力体制の研鑽を重ねている。消防立会いの避難誘導訓練も実施している。	消防署立会いで年2回避難訓練を実施している。運営委員や、役割が明確になっている近隣住民に参加協力を得ている。災害時の備蓄も整備されており、特に米や味噌は地域からの調達として地域協力を得ている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お名前には「さん」付けて呼び、本人の思いや行動を初めから否定せず、見守り、傾聴を主に努めています。また、居室入口に暖簾をつけ中が見えない工夫にも努めています。排泄の誘導時も耳元で小声で話すなど、配慮しています。	利用者の尊厳のため見守りや傾聴する姿勢・対応を主体にしている。他の利用者に留意し、個人名が分からないような連絡や報告を行っている。居室内での様子が戸を開けなくても分かるようなドアを設置している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	できるだけ制限しない雰囲気づくりに努め、本人の思いや希望を現せる支援に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	事業所としての一日のスケジュールはあるものの、本人の希望に添った生活の時間や活動を選べるような支援に努めています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	朝の整容の声掛けや、化粧水やヘアスプレーなど本人が今まで使用してきたものを使えるよう支援するとともに、定期的にスタッフによる散髪を行い身だしなみに努めています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	自分たちで育てた野菜や、地域の商店や産直へ利用者とは向き、季節の食材や嗜好品を実際に目で見て選んでもらっている。季節感のある食事をこころがけ支援している	多くの利用者は生活行動の一つとして自然体に食事に限り、特技を活かした支援となっている。食事の後片付けは当番制として全員が関り、役割を感じながら生活している。ホーム菜園での収穫物や近くの産直での買出し等、生き生きとした生活支援が展開されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量は個別記録しチェックしている。管理栄養士によるメニュー表チェックによる支援に努めています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師会の巡回指導を受け、一人一人の口腔ケアのポイントを教えていただき、毎食後実践に努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄記録を元に排泄誘導の間隔を把握し定期的に促し、夜間はゆっくり眠れるよう自立に向けた支援に努めています	適切に誘導等を行った結果尿失禁がほとんど見られなくなったりしている。水分量をしっかり把握し、腸内運動を整えるなどした結果、自立に繋がっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分チェック表で摂水量を把握し、少ない利用者には水分補給を促している。毎朝の腸を動かす体操を行うと共に、毎朝乳酸飲料、毎昼ヨーグルトを摂取し、個別に歩行運動や黄粉牛乳を飲む等便秘解消に取り組んでいます		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴予定表により声掛けするが本人の希望で時間や日程をずらし、また、入浴できない時は足浴を実施するなどの支援に努めています。また、入浴剤の使用や季節にあった(菖蒲湯など)で楽しんでいただいています。又、地域にある鉱泉に入りに行く利用者の送迎をしています。	週3日の入浴になっているが、希望時は随時対応出来る支援となっている。ホームでの入浴を拒否し近くの鉱泉に職員の送迎で出向き入浴する事もあり、現在も時々出向いている。状態に寄り添い清拭や部分浴で対応しながら気分を大事に支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は活動することを基本としながらも、眠気ある場合は時間を決めて休んでいただき、夜眠れるような支援に努めています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別ファイルの薬の内容を添付し、服用時にスタッフが手渡しで服薬確認に努めています。処方が変わった場合は、日誌にて周知情報共有に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	センター方式Bシートから生活歴等を把握し、支援に努めています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的な買い物やドライブの他に、利用者の馴染みの美容院や鉱泉などへの送迎も行っています。季節のドライブも行い、保育園や地域の行事へも参加しています。施設周辺の畑や花壇にも自由に出れるよう支援しています。	ホーム周辺の散歩や菜園での土いじり、隔日に食材の買出し、産直への訪問、自治会行事への参加や保育園との交流、かかりつけ医への受診等々、その他にも利用者の希望を聞きながら季節毎のドライブや家族同伴での外出など地域協力を得ながら支援に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の希望に応じてお預かりしているお金をお渡しし、使えるような支援に努めています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	贈り物のお礼時に必ず本人にご家族へ連絡入れているとともに、写真入りの手紙を添えて元気な様子を伝えています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースに利用者作品を展示するとともに、季節の花を一緒に飾り付けするなど居心地良く過ごせる工夫に努めています	利用者が集う居間兼食堂が中心で、近くにトイレもあり利用者動線を考えられた造りとなっている。廊下には、手造り絵葉書や利用者の共同作品、行事写真が貼られ季節の花も配置良く、ほんのりとした雰囲気漂い居心地の良い工夫が活かされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食席配置は気のあった者同士を近くに配置している。、食席、ダイニングソファ、TV前のソファと3つの座れる空間を設け、利用者のその時の気分で好きな場所で過ごせるように配慮している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド以外の物は本人の以前より使っていた馴染みの物を持って来てもらい、本人や家族の希望に添ったよう配置にし、心地よく過ごせるように工夫している	ベッドが備え付けられている以外は利用者がそれぞれに馴染んだ筆筒や衣装ケースが持ち込まれており、利用者個々の生活がしやすい工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	能力に応じて座る椅子を変えたり、トイレのドアの色を変える等認識しやすく、自立生活が送れるような工夫に努めています		